

全国高等学校柔道選手権大会・女子団体試合における特殊なケースについて

全国高等学校柔道選手権大会。女子団体試合の代表戦において、以下の特殊なケースが考えられるので、その場合の処置を次のとおりとする。

1. 両チームが2名しか選手がいない状態で試合を行う場合、赤チームが先鋒と中堅、白チームが中堅と大将に選手を配置したケース

| | 先 鋒 | 中 堅 | 大 将 |
|-------|------|------|------|
| 赤 チーム | (選手) | (選手) | |
| 白 チーム | | (選手) | (選手) |

①中堅戦が「引き分け」の場合
⇒先鋒戦と大将戦が不戦勝となるため、中堅戦が代表戦となる。

②中堅戦が「両者累積による反則負け」の場合
⇒「引き分け対戦がない場合は、両者反則負けなどで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする」ので、中堅戦が代表戦となる。

③中堅戦が「両者直接的（ダイレクト）に反則負け」の場合
⇒中堅の両者は以降の試合に出場できないため、先鋒戦または大将戦のどちらかを代表戦とする。
したがって抽選した時点で、勝者チームが決定する。

【略図1】

| | 先 鋒 | 中 堅 | 大 将 | 勝 敗 | |
|------|-----|-----------------------------|-----|-----|---|
| 赤チーム | ○ | × | △ | 1 | ①代表戦「中堅」 ②代表戦「中堅」 ③「先鋒」か「大将」の抽選 *抽選した時点で勝者決定 |
| 勝敗 | 不戦勝 | ①引き分け ②累積反則負け ③直接反則負け | 不戦勝 | | |
| 白チーム | △ | × | ○ | 1 | |

2. 両チームが2名しか選手がいない場合で試合を行う場合、両チームとも中堅と大将に選手を配置したケースで、中堅戦は赤チームが「一本勝ち」、大将戦は赤チームの「反則負け」（白チームの「一本勝ち」）の場合

| | 先 鋒 | 中 堅 | 大 将 |
|-------|-----|------|------|
| 赤 チーム | | (選手) | (選手) |
| 白 チーム | | (選手) | (選手) |

⇒表題の場合、中堅戦または大将戦のどちらを代表戦とするか抽選で決める。

①中堅戦が代表戦となった場合⇒試合を行う。

②大将戦が代表戦となった場合

| | |
|--|--------------------------------------|
| A) 「直接的反則負けの場合」 ⇒赤チームの選手は以降の試合に出場できないため、 <u>白チームの「不戦勝ち」となる。</u> | B) 「累積による反則負け」の場合 ⇒ <u>試合を行う。</u> |
|--|--------------------------------------|

【略図2】

| | 先 鋒 | 中 堅 | 大 将 | 勝 敗 | |
|------|------|------|------------------------|-----|---|
| 赤チーム | × | ○ | △ | 1 | *抽選を行う ①代表戦「中堅」⇒試合を行う。 ②代表戦「大将」⇒ A) (直接)：白の不戦勝ち。 B) (累積)：試合を行う。 |
| 勝敗 | 対戦なし | 一本勝ち | A) 直接反則負け B) 累積反則負け | | |
| 白チーム | × | × | ○ | 1 | |